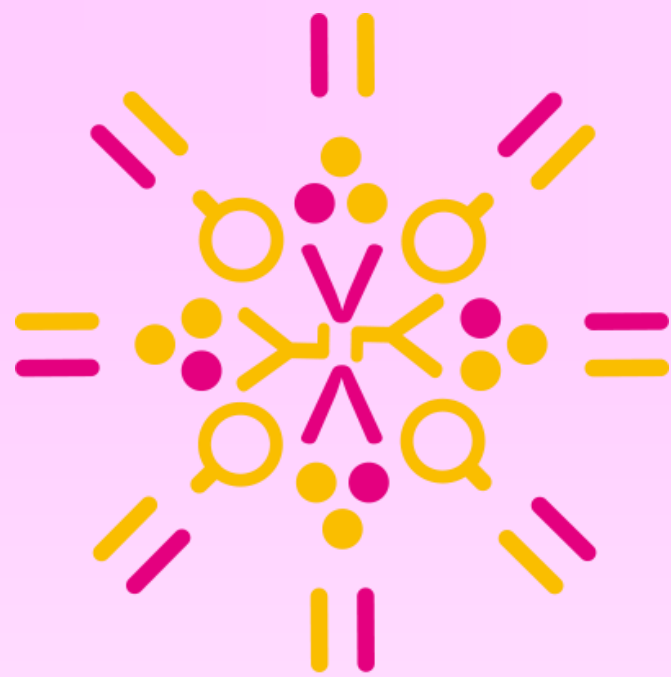




農業女子PJ

農林水産省 「農業女子プロジェクト」 チーム“はぐくみ” 活動の紹介！

東京農業大学農学部（厚木キャンパス）

農林水産省「農業女子プロジェクト」チーム“はぐくみ”担当

農学科 作物学研究室 准教授 平野 繁

【農業女子PJのロゴマークについて※）】

「農業女子プロジェクト」のロゴマークは、農業女子たちが、日々向き合っている畑や田んぼ、果樹園などの地図記号を用いてそこで働く彼女達のきらきら輝く太陽のようなエネルギー、女性独自の視点で新しい価値を生み出していくエネルギー、をイメージしました。

※）<https://nougyoujoshi.maff.go.jp/overview/logo/>

地図記号

- 田
- 畑
- 果樹園
- 桑畑
- 茶園

注）それぞれのスライドのURLは、詳細な説明ページにリンクしています。

- 新型コロナウイルスの感染拡大にともない、令和2（2020）年4月7日に、東京・神奈川・埼玉・千葉・大阪・兵庫・福岡の7都府県に緊急事態宣言が発令され、4月16日には、その対象が全国に拡大されました。
- この宣言を受けて、東京農業大学農学部（厚木キャンパス）では、2020年度前学期の授業が、全てオンラインとなりました。その後、感染防止策を徹底して、少しずつ「対面授業」を再開し、現時点では、多くの「対面授業」が実施されています。
- このような状況の中、農家など、学外で実施する、農林水産省「農業女子プロジェクト」チーム“はぐくみ”の活動は、受け入れ先に迷惑をかける恐れがあると判断し、2020年・2021年ともに中止となりました。
- 今後の「活動」は、新型コロナウイルスの感染状況にもよりますが、感染が終息を迎え、この「活動」が再開される時、多くの学生が参加してもらえるよう、農林水産省「農業女子プロジェクト」チーム“はぐくみ”の概要と、2019年度までの「活動」をまとめました。
- 将来の農学部の学生を含め、多くの皆さんが、この活動に興味を持っていただければ幸いです。

「農業女子プロジェクト」とは？

- 「農業女子プロジェクト」が立ち上がるまでの背景と、「農業女子プロジェクト」については、「令和元年度 食料・農業・農村白書※）」「第1部 食料・農業・農村の動向」「特集2 輝きを増す女性農業者」「（1）女性農業者の活躍の軌跡 ～「生活改善」から「活躍」の時代へ～（p20～28）」で、詳細に説明されています。

※) https://www.maff.go.jp/j/wpaper/w_maff/r1/zenbun.html

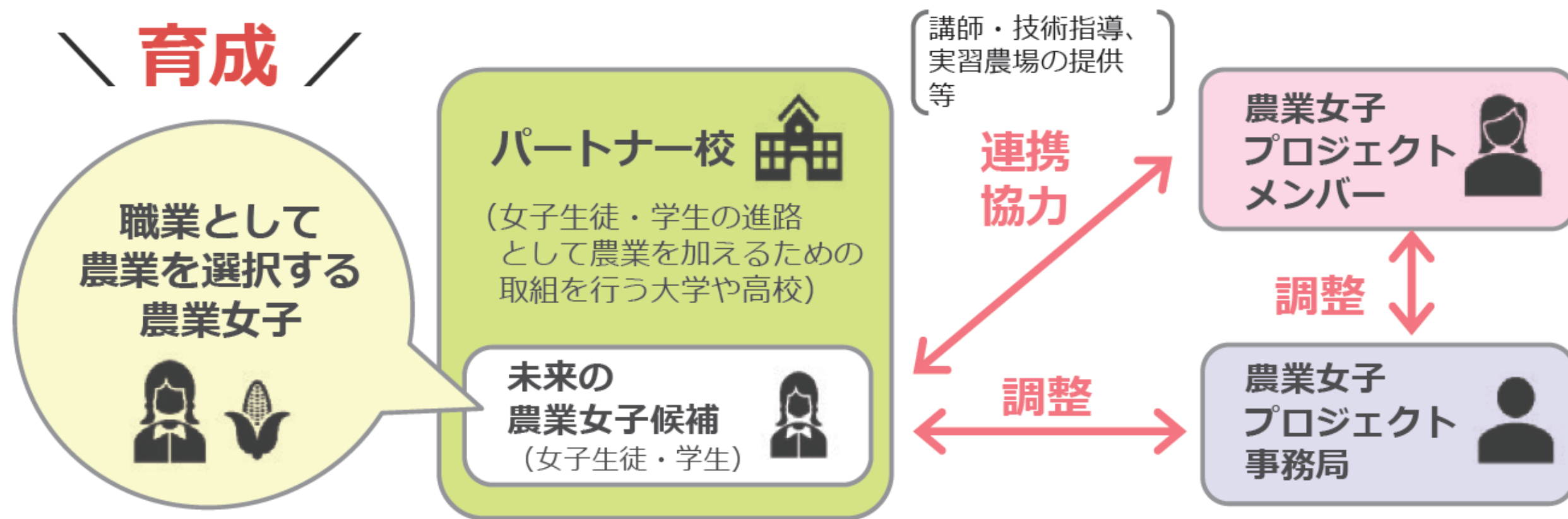
■ 「農業女子プロジェクト」（トップページ <https://nougyoujoshi.maff.go.jp/>）の概要

- 平成25（2013）年度に「農業女子プロジェクト」を立ち上げ。
- 女性農業者の知恵と企業の技術を結び付け、新たな商品やサービスの開発等を進める取組であり、社会全体での女性農業者の存在感を高め、女性農業者自らの意識の改革・経営力の発展を促すとともに、若い女性の職業の選択肢に「農業」を加えることを目標。
- 令和3（2021）年10月16日時点のWebページの情報は・・・
- 農業女子プロジェクトのメンバー（以下「農業女子メンバー」という。）は877人（<https://nougyoujoshi.maff.go.jp/member/>）。
- 連携企業として自動車メーカーや衣料品メーカー、農業機械メーカー等38社（https://nougyoujoshi.maff.go.jp/company_pj/）。

「農業女子プロジェクト」チーム“はぐくみ”とは？

- 平成28（2016）年11月には、高校・大学等の教育機関と活躍する農業女子メンバーによる「チーム“はぐくみ”」を結成しました。女子生徒・学生を対象に農業についてのワークショップを行ったり、農業女子メンバーの農場で実習したりするなど、未来の農業女子を育む活動を展開しています。（https://nougyoujoshi.maff.go.jp/team_hagukumi/）

図表 特2-4 未来の農業女子育成「チーム“はぐくみ”」



資料：農林水産省作成

注：令和元（2019）年度末時点、パートナー校は、桜美林大学、蒲田女子高等学校、近畿大学、産業能率大学、東京家政大学、東京農業大学、山形大学の7校

「令和元年度
食料・農業・
農村白書」より

「東京農業大学」でのチーム“はぐくみ”の活動

- 平成28（2016）年11月4日（金）の「第5回農業女子プロジェクト推進会議」で、第4期から、教育機関（東京農業大学・蒲田女子高等学校）と連携し、未来の農業女子を育てる『チーム“はぐくみ”』の始動が発表されました。

(https://nougyoujoshi.maff.go.jp/event/e_secretariat/1819/)

(https://nougyoujoshi.maff.go.jp/news/n_secretariat/ns_other/1535/)

■「東京農業大学」全体での活動として・・・

- 「世田谷」・「オホーツク」・「厚木」の3キャンパスで、農業に興味のある女子学生が参加する「3キャンパス合同インターンシップ」を企画し、実施する。

■また、各キャンパスでの活動として、厚木キャンパスでは・・・

- 農学部共通授業の「農業インターンシップ(一)」での「夏休み農家実習」の実習先に「農業女子メンバー」を加える。
- 農学部共通授業の「農業インターンシップ(二)」履修学生に参加を勧める「新規就農推進フォーラム」で「農業女子プロジェクト」を取り上げる。
- 「収穫祭」でチーム“はぐくみ”の活動報告を実施する。

【2017年度】3キャンパス合同インターンシップ



1) 「見学会」と「オホーツク インターンシップ」

(8月22日～24日)

- 農業女子メンバーの農場見学（神奈川県三浦市の野菜農家・山梨県甲州市の果樹農家）。
- 連携企業である井関農機(株)の「ISEKI夢ある農業総合研究所（茨城県つくば市）」見学。

(9月4日～6日)

- 農業女子メンバーの農場での実習（北海道遠軽町の畑作農家・北海道別海町の酪農家）。

(https://nougyoujoshi.maff.go.jp/pj/p_results/7086/)

2) 「阿見町 インターンシップ」 (8月～12月)

- 「産学官連携事業」（井関農機(株)＋東京農業大学 チーム“はぐくみ”＋茨城県阿見町）として実施。
- 「常陸秋そば」の「機械播種」と「そばを使ったスイーツ開発」。および、阿見町内の農家での実習（8月24日～27日）。(https://nougyoujoshi.maff.go.jp/pj/p_progress/7219/)
- 「常陸秋そば」の「機械収穫」（11月10日）。(https://nougyoujoshi.maff.go.jp/pj/p_progress/8633/)
- イベント「阿見町産常陸秋そばを食べよう」開催（12月15日）。

(https://nougyoujoshi.maff.go.jp/pj/p_results/9354/)

【2018年度】3キャンパス合同インターンシップ



1) 「農業女子PJインターンシップ」 in野辺山（長野県）（8月16日～19日）

- 「信州大学農学部野辺山ステーション」と連携した「農業体験」。
- 周辺の農業女子メンバー、農林水産省農業女子プロジェクト事務局と学生との意見交換会。
(https://nougyoujoshi.maff.go.jp/event/e_other/12982/)

2) 「阿見町 インターンシップ」（7月～2月）

- 「産学官連携事業」（井関農機(株)+東京農業大学 チーム“はぐくみ”+茨城県阿見町）として、前年度（2017年度）から継続して実施。
- 耕作放棄地の解消を目的とした「農業機械の安全操作研修」（7月7日）。
- 「常陸秋そば」の「機械播種」（8月23日）。
- 「常陸秋そば」の「機械収穫」（11月11日）。
- イベント「平成30年度 あみまち農活フェア ～女性の力で農業を盛り上げよう～」開催（2月26日）。

【2019年度】3キャンパス合同インターンシップ



1) 「農業女子PJインターンシップ」 in野辺山（長野県）（8月29日～9月1日）

- 「信州大学農学部野辺山ステーション」と連携した「農業体験」。
- 周辺の農業女子メンバー、農林水産省農業女子プロジェクト事務局と学生との意見交換会。
- 高大連携事業の一環とし、チーム“はぐくみ”のパートナー校である「蒲田女子高等学校」の生徒も参加。
- 連携企業の「桃谷順天館」からも参加。 (https://nougyoujoshi.maff.go.jp/event/e_other/19393/)

2) 「近畿大学との交流プロジェクト」（9月14日～16日）

- 近畿大学農学部（奈良キャンパス）を訪問し、「オープンキャンパス」を見学後、近畿大学の「チーム“はぐくみ”」学生と意見交換会。 (https://nougyoujoshi.maff.go.jp/pj/p_results/19548/)
- 近大を卒業した農業女子メンバー（大阪府能勢町 近大の技術を反映した施設園芸でメロン栽培）を訪問。

「厚木キャンパス」でのチーム“はぐくみ”の活動



■「農業インターンシップ(一)」の「夏休み農家実習」

- 2017年度／2名の学生が「農業女子メンバー」のもとで実習（女子1名・男子1名）。
（学生への紹介が遅くなり参加者は少なかったのですが、最初の実習としてWebページに紹介されました。）
(https://nougyoujoshi.maff.go.jp/pj/p_progress/8199/)
- 2018年度／29名の学生が「農業女子メンバー」のもとで実習（女子19名・男子10名）。
- 2019年度／24名の学生が「農業女子メンバー」のもとで実習（女子18名・男子6名）。

■2018年12月9日

「第14回 新規就農推進フォーラム※）『農業女子』夢を語る！」で登壇者に農業女子メンバー3名を招いて開催。（https://nougyoujoshi.maff.go.jp/event/e_other/15179/）

※）東京農業大学総研研究会就農者推進教育研究部会・

東京農業大学就農者育成プログラム検討委員会 主催

■「収穫祭」でチーム“はぐくみ”の活動報告

- 2017年度は、第1講義棟1階入口のガラス張りの小スペースで展示。
- 2018年度の展示。（https://nougyoujoshi.maff.go.jp/event/e_other/14484/）
- 2019年年度の展示・試食。（https://nougyoujoshi.maff.go.jp/event/e_other/20103/）

以上・・・

「農業女子プロジェクト」チーム“はぐくみ”の
始動から2019年度までの活動をまとめました。

この「活動」に興味をもたれた皆さん！
再開される時は、男女問わず、
是非、参加願います！

「3キャンパス合同インターンシップ」は、
今後、検討していきますが、
「農業女子メンバー」のところでの「実習」は、
新型コロナウイルスの感染が終息したら、
再開予定です！

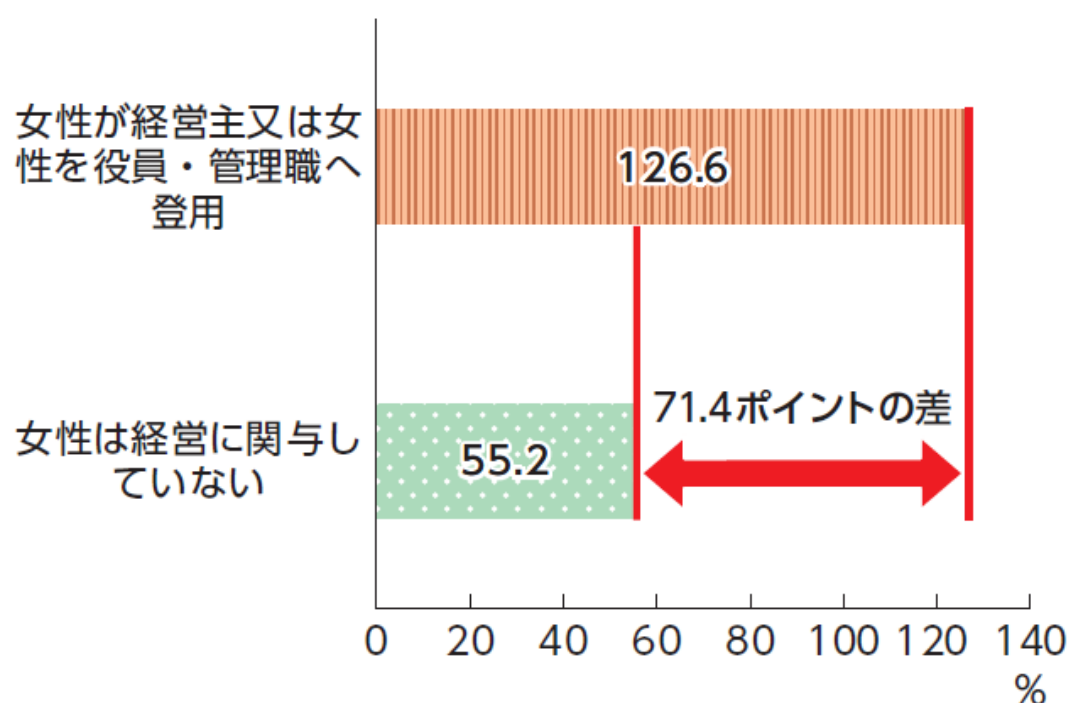


女性が農業経営に関与すると収益が向上

- 「農業女子メンバー」のもとで実習し「農業女子メンバー」の経営ノウハウを勉強して下さい！

図表 特2-13 女性の農業経営への関与と収益性の向上

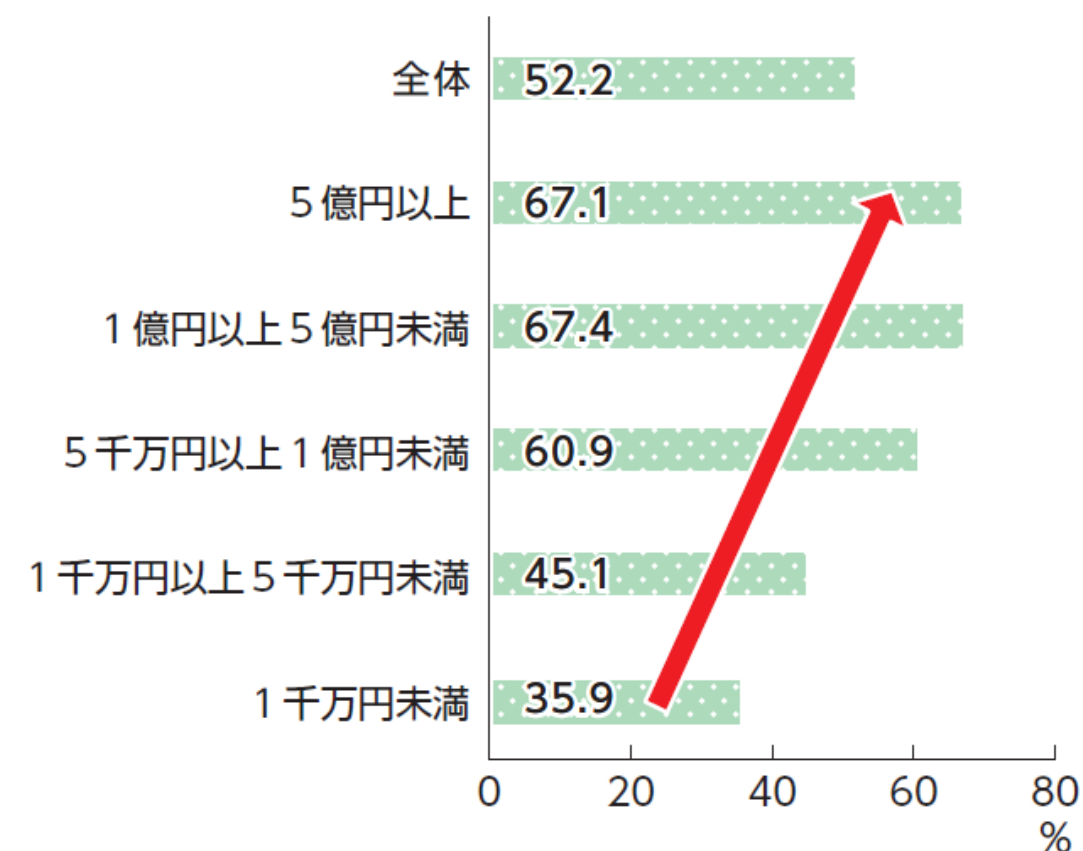
(女性の経営への関与別 経常利益増加率 (直近3年間))



資料：株式会社日本政策金融公庫農林水産事業本部「平成28年上半期農業景況調査」(平成28(2016)年9月公表)を基に農林水産省作成

注：日本政策金融公庫のスーパーL資金又は農業改良資金の融資先のうち、21,389先を対象として実施(回収率28.0%)

(売上規模別 女性が農業経営に関与している割合)



資料：株式会社日本政策金融公庫農林水産事業本部「令和元年7月農業景況調査」(令和元(2019)年12月)を基に農林水産省作成

注：1) 調査対象は、日本政策金融公庫のスーパーL資金又は農業改良資金の融資先のうち、19,215先を対象として実施(回収率28.0%)

2) 役員や管理職等として女性が1人以上経営に関与している経営体の割合を示す。

「令和元年度
食料・農業・
農村白書」より

農大の精神である「実学主義」
「人物を畑に還す」を具現化する為に・・・

農学部では積極的に農家実習を支援！

- 1年生に配当されている・・・
「農業インターンシップ（一）」では、夏休みの農家実習先を紹介します。
- また、2年生以上の農家実習希望者にも、希望に応じて、実習先を紹介します。
- 希望者は、農学科作物学研究室の平野に相談願います。